

- ★ 「高知県いじめ防止基本方針（高校生向け）」、「高知県いじめ防止基本方針（小中学生向け）」の作成
- ★ 高知県内の県立高等学校、特別支援学校高等部の生徒を対象に、一人一台端末による意見募集を実施（令和6年9月9日～10月10日）

- 19校（高等学校14校、特別支援学校5校）より、600名を超える生徒から意見
- 主な意見
 - ・ 高知県のいじめについての取組を知ることができた。
 - ・ この基本方針があることで、いじめが少なくなって（なくなって）ほしいと思う。
 - ・ 基本方針の内容を本当に実行できるのか疑問に思う。

応募意見の抜粋

いじめは心の狭さや寂しさから生まれると思う。心の余裕を持っている人ほど、相手を受け入れる心の広さを持っているので、多くの違う意見や価値観に対し客観的に判断できる。もっと個々の良さ、個性を理解し合える世の中になってほしい。

いじめられていることは、言いにくかったり、言いたくない人もいて、しっかりお互いの意見を聞いて解決できたら一番良い。偏見などで派閥が生まれるといじめや陰口に発展したりするのではないかな。もっと仲良くするための時間があればいいと思う。

いじめをさせないようにすると書いていたけど、それはいじめをする人の意思の問題なので、教師や高知県が何かできるわけではないと思った。でも、いじめをさせない環境は作れると思うので、それを実行したら少しはいじめが少なくなるといった。

- ★ 意見募集に寄せられた意見に基づき、「高校生によるいじめ問題についての意見交流会」を開催（令和6年11月4日）
- ★ 高校生が話し合った内容を、「高知県いじめ防止基本方針」に反映

- 県立高等学校7校、私立学校2校から19名が参加（会場参加7校、オンライン参加2校）
- 意見募集に応募された意見を踏まえて、いじめ問題についての意見を交換し、「いじめを止めるには」「どんな人なら相談できる？」といったテーマで議論。

高校生からの意見

いじめが起きない環境

- ・ 教室がきれいだと、心が落ち着く。身の回りの環境を整えていることが、大切だと思う。
- ・ 先生が生徒一人一人としっかり向き合える余裕があれば、いじめは起きにくいと思う。
- ・ いじめを受けたとき、それを相談できる場や自己主張できる雰囲気があればいいと思う。

どんな人になら相談できる？

- ・ 信頼できる人に相談したい。
- ・ 信頼できる人、というのは、親や、友人や、年の近い人など人それぞれだと思うが、話を真剣に聞いてくれる人、最後まで寄り添ってくれる人、秘密を守ってくれる人になら相談できると思う。

いじめを止めるには

- ・ いじめをなくすことはできない。みんなが「いじめを許さない」ということを行動で示していくことで、いじめを少なくしていきたい。
- ・ いじめを受けた人だけでなく、いじめをした人への心のケアも必要だと思う。

大人ができること、できないこと

- ・ 大人は、いじめが起きたときに仲裁者になってほしい。大人が仲裁者になってくれることで、正しい判断ができると思う。
- ・ SNSなどのいじめを見つけることは、大人には難しいと思う。先生が、生徒間の人間関係の見えない難しさを理解してくれたら、変わってくると思う。

いじめについてみんなが考えるためのメッセージ

- ・ 一人一人が未来を見据えて、いじめを受けた人を助けられるように、客観的に物事を見る力を持った人になるよう成長する。
- ・ いじめを受けた人から、メッセージをもらいたい。そういったメッセージを発信することで、いじめについての理解を深め、支え合えると思う。

